

本館で勤務して

大学院工学研究科光応用工学専攻博士前期課程 井口徳晃

私は大学3年生の3月から大学院2年生の3月まで図書館で4年間勤務しました。

図書館でのアルバイトに応募したきっかけは本を読むのが好きだったことと図書館をよく利用していたため、親近感を持っていたためです。

図書館は学外の方の利用が多く、大学の専門的な書物を一般の方が利用されていることに驚きましたし、同時に大学の中でも地域の方々との交流が活発な施設である図書館の重要性を知ることができました。また、利用者の方や職員の方とのコミュニケーションを通してよい社会勉強をさせていただいたと思っています。

業務は思っていたよりも複雑で覚えなければならないことも多く、簡単に思えたリーダーでの返却処理にもノウハウがあったりとはじめは戸惑ったりもしましたが同じ勤務の先輩方や職員の方に助けられて無事に卒業まで勤務することができました。

4年間の間に図書館を利用された方々、職員の皆様、本当にお世話になりました。

本館での経験を通して

総合科学部人間社会学科 越智生代

私が図書館で働きはじめたのは、3年生の3月からです。それから4年生の2月まで、勤務したのは1年間です。この1年は早いものでしたが、とても多くの経験をさせてもらった1年でもありました。

図書館でのカウンター業務は利用者の方と接するという仕事柄、質問を受けることも度々でした。館外で質問を受けることもありました。その全てに十分に答えることはできなかったかもしれませんが、対応の仕方について自分なりに学ぶことができました。この経験は、4月から働く職場で既に研修をかねて働いている今現在の私の役に立っています。図書館での仕事と今の仕事はもちろん同じではないけれど、共通する部分はたくさんあります。図書館でのアルバイトの経験を通じて学んだことを、この先も生かしていければいいなと思います。

私にとって、大好きな本に携われる図書館でのアルバイトは楽しい仕事でした。1年という短い間でしたが、この仕事をやることができ本当に良かったと思っています。

本館でのアルバイトを経験して

総合科学部人間社会学科 植野 春奈

私は大学3年生の3月から4年生の2月まで、徳島大学附属図書館でアルバイトとして勤務しました。私は大学で文学を専攻していたので、普段からよく図書館を利用していました。図書館でア

アルバイトをしてみようと思ったのは、普段利用している所で勤務してみたいと思ったからです。初めの頃は、何をするのも分からなくて戸惑う事が多く、アルバイトの先輩の方や職員の方にその度教えてもらいながら少しずつ仕事を覚えていきました。利用者の方にも迷惑をおかけする事が多々あったと思います。アルバイトを始めてからは、自分が図書館を利用している範囲では知らなかった、それぞれの人の目的に合った、いろんな利用の仕方があるという事を知りました。1年間という短い期間であり、仕事にも慣れてきたところで辞めなければならないのは、大変残念に思います。アルバイトを通して、対応の仕方や、分からない事があった時の対処の仕方などを学ぶ事が出来たと思っています。

これからも図書館が、更に多くの方が利用できる場所であってほしいと思います。関係者の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

本館で勤務して

大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程 谷永 真一

私は、学部4年生の3月から大学院2年生の2月までの二年間、徳島大学附属図書館でアルバイト職員として勤務しました。附属図書館は、入学当初からレポートの作成や試験勉強にと利用させていただき、勤務も合わせると六年間大変お世話になりました。

アルバイト職員として勤務するようになってからは、職員の方々の苦勞や図書館利用の改善点などが違った角度から見えるようになりました。業務も最初はとまどったり、間違えたりと迷惑をかけてしまいました。そんな時、職員の方や同じアルバイトの先輩方に助けもらい本当に感謝しています。

また、不慣れな業務を少しずつ覚えてきたころ、対応後の利用者の方に「ありがとう」と感謝の言葉をかけられ、すごくうれしかったのを覚えています。自分の仕事ははじめて認められたような気がしました。

この図書館に勤務してから、たくさんの方と出会え、業務への取り組み方など多くのことを学びました。社会に出てからもこの経験を活かし、自分の仕事に責任を持ち、役立つ人になりたいです。

最後になりましたが、徳島大学附属図書館の職員の方々に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

分館でのアルバイトを経験して

総合科学部人間社会学科 原田雪子

私は蔵本分館で2年間アルバイトをしていました。私自身、図書館が好きでアルバイトを始める前は常三島の本館の方を利用していました。

アルバイトを始めてみると、図書館は本館と分館でのサービスは学生のニーズに合わせて違いが

あり、「図書館にはこんな利用方法もあるのだ」と感心させられることが多かったです。同時に図書館でのマナーについても気付くことが多くありました。例えば、館内での飲食は決められた場所でのみ可能ですが、それ以外の場所で行っている人もいます。アルバイトをしてみて、特に深く考えていなかったことを振り返ることができ、よい経験になりました。私は来年度から院生として図書館を利用します。夜遅くまで開館してるなど、院生にも使いやすくなっている図書館をこれからも利用していきたいと考えています。

分館でのアルバイトを経験して

大学院工学研究科光応用工学専攻博士前期課程 小村英嗣

本は自分が体験した事がないものや知らなかった事、知りたい事を多く教えてくれる。だから本が好きで図書館のアルバイトを始めました。初めは、なかなか探す本も見付からず利用者に逆に「大丈夫？」と聞かれ落ち込んだ事もありました。でも慣れるにつれて利用者が欲しい本が見付かる様になりとても喜んでくれるので最後は一緒に本を探すのが楽しみになり、とても楽しくアルバイト出来ました。蔵本図書館員や利用者の方々にとっても感謝しています。ありがとうございました。

分館でのアルバイトを経験して

大学院工学研究科生物工学専攻博士前期課程 渡辺 裕子

私は、修士課程の2年間、徳島大学附属図書館分館でアルバイトをさせていただきました。図書館には、学生さん、先生方、一般の方、留学生などさまざまな人が来館されます。そのため、バイトを始めた頃は、自分自身が業務内容を十分理解できていないという問題があり、来館者の質問や要望に対する応答の仕方に戸惑うことが多々ありました。アルバイトのパートナーにアドバイスをもらいながら、業務内容を覚え、数ヶ月でやっと一人でも的確に対応できるようになったことを覚えています。相手が分からないことを分かりやすく、丁寧に伝えることの難しさを実感するとともに、人との接し方を学べたことにとっても感謝しております。また、図書の返却作業や閉館作業を通して、これまで以上に図書館利用のマナーを考え直すことができ、すごく貴重な体験をさせていただいたと思います。今春から社会人ですが、たくさんの人との出会いを大切に頑張っていきたいです。